

学校・学科構成等の在り方検討資料

1. 学校・学科に係る用語の整理
 2. 新しいタイプの高校の現状
 3. 公立高校(全日制)の地区別学科構成
 4. 全国・各県の学校構成
- (各学科のあらまし)
5. 普通科高校
 6. 普通科系専門高校
 7. 総合学科
 8. 農業に関する学科
 9. 工業に関する学科
 10. 商業に関する学科
 11. 水産に関する学科
 12. 家庭・看護に関する学科

平成20年12月

宮城県教育庁教育企画室

1. 学校・学科に係る用語の整理

○ 中学校・高等学校と中高一貫教育について

中等教育	中学校	中等教育の前期3年間を行う学校。
	高等学校	中等教育の後期3年間を行う学校。
	中等教育学校	一つの学校として中学校・高等学校にあたる6年間の一体的な教育を行う学校。
	併設型	同一設置者が中学校と高等学校を併設し、接続した教育を行う。
	連携型	同一地域内の中学校と高等学校が連携し、接続した教育を行う。

○ 課程について

全日制課程	高等学校の通常の課程とされており、1日に6時間から8時間程度の授業を行う。修業年限は3年と定められている。
定時制課程	夜間その他特別の時間帯又は季節において授業を行う課程。修業年限は通常は4年であるが、単位制の学校では、3年で卒業も可能となっている。
通信制課程	郵送方式での添削指導と年20～30回程度の登校指導により学習指導を行う課程。3年で卒業可能だが、自分のペースで学び、4年以上での卒業も可能である。

○ 学科について

普通科	普通教育に関する教科・科目を中心として学習し、一般的に必要とされる教養を幅広く身に付け高めることを目標とする学科。
総合学科	普通教育と専門教育を総合的に施す学科。各教科・科目は選択履修とされ、両方を選択できる。原則として単位制である。専門教科の科目を25単位以上設置しなければならない。
専門学科	職業教育を主とする職業系専門学科と、普通教育をより高度に拡充させた普通系専門学科に分類される。職業系専門学科としては、農業、工業、商業、水産、家庭、情報、福祉、看護などに関する各学科が、普通系専門学科としては、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係などに関する各学科が設置されている。職業系学科は、その性質上、国家資格を要する専門職種の養成施設として国の認可を受け、卒業時に各種の免許を取得したり、あるいは試験科目の一部が免除になる教育課程を編成している学科も少なくない。

○ 学年制と単位制について

学年制	学年進行により教科・科目を配列し、一定数以上の単位を修得することで、進級、卒業する仕組み。多くの学校がこれにあたる。
単位制	学年によらず、生徒が自分のニーズに応じて独自の教科・科目を選択し、必要な単位を修得することで卒業する仕組み。 全日制課程では、生徒の個に応じた教育を推進するため、教科・科目の選択幅を拡大することを目的とし、定時制課程では、生涯学習の観点から、誰でも、いつでも、必要に応じて高校教育を受けられるようにすることを目的としている。

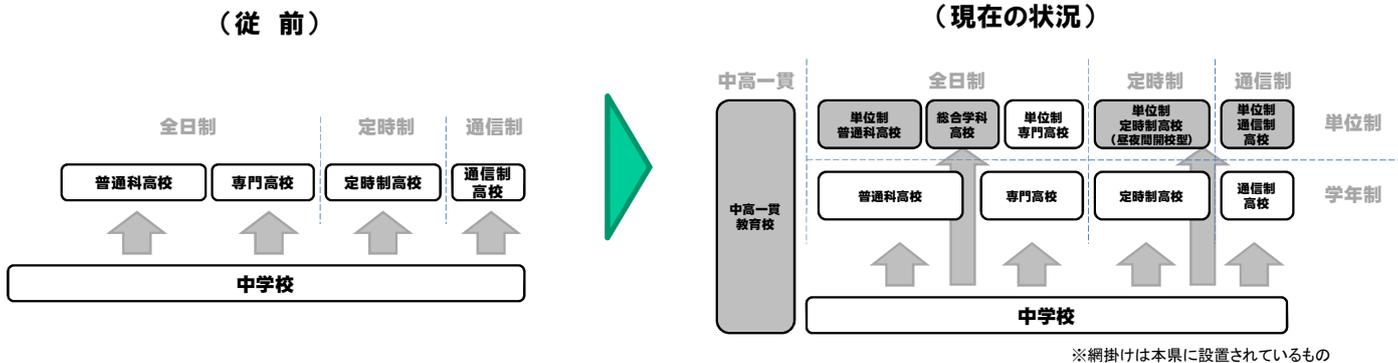
○ コース制・類型制・系列について

共通事項	教科・科目をグループにして選択できるようにする仕組み。普通科における文系・理系の選択や総合学科における系列選択を行う際に用いられる。	
本県における定義	コース制	同一学科の中で異なる教育課程を編成し、普通科や専門学科の専門的内容をより高めようとするもの。高校入試に出願するときに選択する。
	類型制	普通科、専門学科における進路選択等に応じた教科・科目選択群。学校や学科により個別に設定されており、2年次以降に選択する。
	系列	総合学科における専門性により体系化された教科・科目選択群。学校ごとに個別に設定されており、1年次の学習を通して2年次以降の選択について考える。

2. 新しいタイプの高校の現状

現在の構想と前後して、高校教育の多様化が進められ様々な新しいタイプの学校が設置運営され、高校教育の複線化が進んできた。こうして設置された総合学科や単位制高校を始め、これまでの成果を検証するとともに、明らかになってきた課題への対応が必要になってきている。

○高校教育の複線化



(県内に設置されている新しいタイプの高校)

備考	学校名	学科	課程	設置年度	備考	学校名	学科	課程	設置年度	備考	学校名	学科	課程	設置年度
総合学科高校	村田高校	総	全日制	平成7年	単位制普通科	利府高校	普・専	全日制	平成10年	中高一貫教育校	志津川高校(連携型)	普・専	全日制	平成17年
	宮城野高校	総・普・専	全日制	平成7年		蔵王高校	普	全日制	平成11年		古川黎明高校(併設型)	普	全日制	平成17年
	小牛田農林高校	総・専	全日制	平成9年		宮城第一高校	普・専	全日制	平成20年					
	伊具高校	総	全日制	平成11年		仙台第一高校	普	通信制	昭和63年					
	本吉響高校	総	全日制	平成11年		利府真山	普	定時制	平成2年					
	迫桜高校	総	全日制	平成13年		東松島高校	普	定時制	平成17年					
					単位制定時制(昼夜間開校型定時制)	田尻さくら高校	普	定時制	平成20年					

新しいタイプの学校の配置状況 (H20)



○総合学科高校

普通教育、専門教育を総合的に学習するというスタイルの学科。生徒の将来の職業選択を視野に入れた進路への自覚を深めるような学習や、生徒の個性に応じた主体的な学習を重視したカリキュラムが特徴

- 原則履修科目「産業社会と人間」
自己の個性を発見したり、将来の生き方や進路を考える学習を進めるため、「産業社会と人間」をすべての生徒に履修させる。
- 原則「単位制高校」
生徒が主体的に科目選択ができるよう、学年による教育課程の区分を設けない単位制による課程とすることを原則。
- 多様な教科・科目から主体的に選択履修
「産業社会と人間」及び専門教育に関する各教科・科目を合わせて25単位以上開設し、生徒が普通教育及び専門教育に関する多様な各教科・科目から主体的に選択履修。

総合学科の導入により、生徒が主体的な学習の確立や自己の進路への自覚を深める事ができた、その結果として就職決定率の向上等の成果が現れている。

3学級など小規模化した総合学科高校においては、開設科目数が制限され、多様な類型の維持ができないなど、趣意の維持が難しくなっている。

○単位制高校(全日制)

学年による教育課程の区分を設けない方式。一定期間在学し、必要な取得により卒業できる。なお、この単位制以外の方式には、学年毎に課程終了の認定がなされてから次学年に進級数する「学年制」がある。

- 個に応じた教育
自分の学習計画に基づいて、自分の興味、関心等に応じた科目を選択し学習できること。学年による教育課程の区分がなく、自分のペースで学習に取り組むことができる。決められた単位を修得すれば卒業が認められる。
- 過去に在学した高校で修得した単位
生徒が過去に高等学校に在学して単位を修得しているときは、その単位を加算して全課程の修了の認定を行うことが可能。
- 4月入学・3月卒業ではなく、学期区分で入学・卒業が可能

きめ細かい学習支援が可能であり、学力向上への支援が必要な層の生徒に対して効果が見られる。

<普通科、専門学科、総合学科で学習する内容のちがい>

普通科	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報	総合的な学習の時間	※コース制 ※類型
専門学科	普通教科					専門教科					課題研究	※コース制 ※類型
総合学科	必修修科目			総合的な学習の時間	産業社会と人間	総合選択科目(普通教科/専門教科)					自由選択科目	※系列
普通科(単位制)	必修修科目			総合的な学習の時間	選択科目(普通教科/専門教科)							※コース制 ※類型

○中高一貫教育校

中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が6年間の一貫した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会をも選択できるようにすることにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を目指すものとして、平成11年4月より、中高一貫教育を選択的に導入することが可能となっている。

中高一貫教育については、生徒や保護者のニーズ等に応じて、設置者が適切に対応できるよう、次の3つの設置形態があり、平成22年度までに県内に4つの中高一貫教育校が設立される予定である。いずれの形態においても高校入試を行わない。

- ① 中等教育学校（H21年度開校の仙台市立仙台青陵中等教育学校）
一つの学校において一体的に中高一貫教育を行うもの。
- ② 併設型の中学校・高等学校（古川黎明高校および中学校・H22年度開校の仙台二華高校および中学校）
併設型高等学校においては、当該高校に係る併設型中学校の生徒については入学者の選抜を行わない。
- ③ 連携型の中学校・高等学校（志津川高校および南三陸町内の4つの中学校）
既存の市町村立中学校と都道府県立高等学校が、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の面で連携を深める形で中高一貫教育を実施するもの。連携型高等学校における入学者選抜は、連携型中学校の生徒については調査書及び学力検査以外の資料により行うことができる。

本県中高一貫教育校については、最初の設置以降4年が経過したところであり、具体的な課題が徐々に見えつつあるものの、今後の中高一貫教育の在り方については、引き続き検討していく必要がある。

○多部制定時制課程

午前・午後・夜間など複数の時間帯で生徒が自分のペースに合わせて学習できる定時制課程。多様な科目が開設されているのが一般的である。複数の部を履修することによって3年間で卒業が可能となっている。

本県の昼夜間開講型の定時制高校は、単位制多部制定時制課程であり、弾力的な履修が可能なこと、また単位制ということで学級をあまり意識していないことなどにより、全日制課程からの転入学する者や中学校時代に不登校であった生徒や生活リズムが身につけていなかった生徒など、これまで学校教育に適応できなかった児童・生徒の受け皿としての役割が大きくなりつつある。

《県内の定時制課程の高校》

	昼間部	夜間部
普通科	白石七ヶ宿校 貞山 田尻さくらⅠ部 東松島Ⅰ部 東松島Ⅱ部 飯野川十三浜校	大河原商 名取 貞山 田尻さくらⅡ部（午後夕間） 佐沼 東松島Ⅲ部 気仙沼 仙台圏南萩陵 ※
電気科		宮城二工 古川工
機械科		古川工 仙台二工 ※
電子機械科		宮城二工
建築土木科		仙台二工 ※

（平成20年度募集停止校：白石（定時制、普通科・夜間部）、※：仙台市立高校）

3. 公立高校の地区別学科構成(H20年度入学定員)

■全日制課程

大学科	学級数	定員	小学校	南部地区			中部(南)			中部(北)			北部(大崎)			北部(栗原)			北部(登米)			東部(石巻)			東部(本吉)				
				学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員	学校	学級	定員		
普通科の学科	普通	260	10,400	白石 白石女子 角田 蔵王 柴田 柴田農林(川崎)	4 4 5 3 3 1	160 160 200 120 120 40	仙台第一 第二女子 第三女子 仙台向山 仙台南 仙台西 仙台東 名取北 名取 亙理	8 7 7 4 7 7 6 7 6 2	320 280 280 160 280 280 240 280 240 80	仙台第二 仙台第三 宮城第一 泉 泉松陵 泉館山 宮城広瀬 宮城野 塩釜 塩釜女子 多賀城 松島 利府 黒川 富谷 仙台	8 6 5 6 7 7 4 4 5 7 5 2 7 8	320 240 200 240 280 280 280 160 160 200 280 200 200 80 280 320	古川 古川黎明 松山 岩出山 中新田 涌谷 南郷 田尻	6 6 1 4 2 4 1	240 240 40 160 80 160 40	築館 岩ヶ崎	6 3	240 120	佐沼 登米 米山	6 3 2 1	240 120 80 40	石巻 石巻好文館 飯野川 河南 石巻西 女川 市女	6 5 5 2 5	240 200 200 80 200	気仙沼 気仙沼西 志津川	7 3 3	280 120 120		
	理数	5	200				仙台向山	1	40	仙台第三 第一女子	2 2	80 80																	
	英語	2	80				仙台東	1	40	泉	1	40																	
	美術	1	40							宮城野	1	40																	
	体育	3	120		柴田	1	40																						
	計	271	10,840			21	840		63	2,520		101	4,040		24	960		9	360		12	480		28	1,120		13	520	
総合	21	840		村田 伊具	3 4	120 160				宮城野	2	80	小牛田農林	3	120	迫桜	5	200							本吉響	4	160		
計	21	840			7	280		0	0		2	80		3	120		5	200		0	0		0	0		4	160		
農業	20	840	農業科学科	柴田農林	1	40																							
			農業科				農業	1	40				加美農業	1	40									河南	1	40			
			園芸工学科	柴田農林	1	40																							
			園芸科				農業	2	80																				
			農業経営科											黒川	1	40													
			動物科学科	柴田農林	1	40																							
			食品化学科				農業	1	40																				
			農業機械科				農業	1	40						加美農業	1	40												
			森林科学科	柴田農林	1	40																							
			生活科				農業	1	40																				
			生活技術科												加美農業	1	40												
			農業技術科												小牛田農林	2	80				上沼	1	40						
			産業技術科												南郷	1	40												
			園芸ビジネス科																										
工業	43	1,720	機械科	白石工業	2	80	工業 仙台工業	2 2	80 80				古川工業	2	80	鶴沢工業	1	40											
			機械システム科																										
			機械技術科																								気仙沼向洋	1	40
			機械制御科																										
			自動車科																										
			電気科	白石工業	1	40	工業 仙台工業	2 2	80 80																				
			電気システム科																										
			電気情報科																										
			電気電子科												古川工業	1	40												
			電子科																										
			電子機械科				工業	1	40	黒川	2	80																	
			建築科	白石工業	1	40	仙台工業	1	40						古川工業	1	40												
			インテリア科				工業	1	40																				
			設備工業科	白石工業	1	40																							
土木科				仙台工業	1	40	黒川	1	40																				
土木情報科																													
土木システム科																													
化学技術科																													
工業化学科	白石工業	1	40																										
化学工業科				工業	1	40																							
情報科学科																													
情報技術科				工業	1	40																							
商業	38	1,520	情報システム科	大河原商業	2	80																							
			情報処理科																										
			情報ビジネス科																										
			流通経済科																										
			流通マネジメント科	大河原商業	2	80																							
			〇A会計科	大河原商業	1	40																							
			会計科																										
商業科				亙理	1	40	仙台商業 市女子商業 塩釜	6 5 2	240 200 80	中新田 鹿島台商業 田尻	2 3	80 120																	
総合ビジネス科																													
家庭	3	120	家政科			名取 亙理	1 1	40 40				松山	1	40															
			生活福祉課																										
水産	5	200	海洋総合科																										
			産業経済科																										
看護	1	40																											
計	110	4,440			16	640		24	960		17	680		18	720		5	200		7	280		20	800		4	160		
全日制計	402	16,120			44	1,760		87	3,480		120	4,800		45	1,800		19	760		19	760		48	1,920		21	840		

■定時制課程

普通科	普通	19	760	白石(七ヶ宿) 大河原商業	1 2	40 80	名取 因南萩陵	1 2	40 80	貞山	4	160	田尻さくら	3	120				佐沼	1	40	東松島 飯野川 (十三浜)	3	120	気仙沼	1	40	
職業系学科	工業	6	240	機械科			第二工業 仙台第二工業	1 1	40 40				古川工業	1	40													
				電気科											古川工業	1	40											
				電子機械科																								
定時制計	25	1,000			3	120		7	280		4	160		5	200				1	40		4	160		1	40		

4. 全国・各県の学科構成(参考)

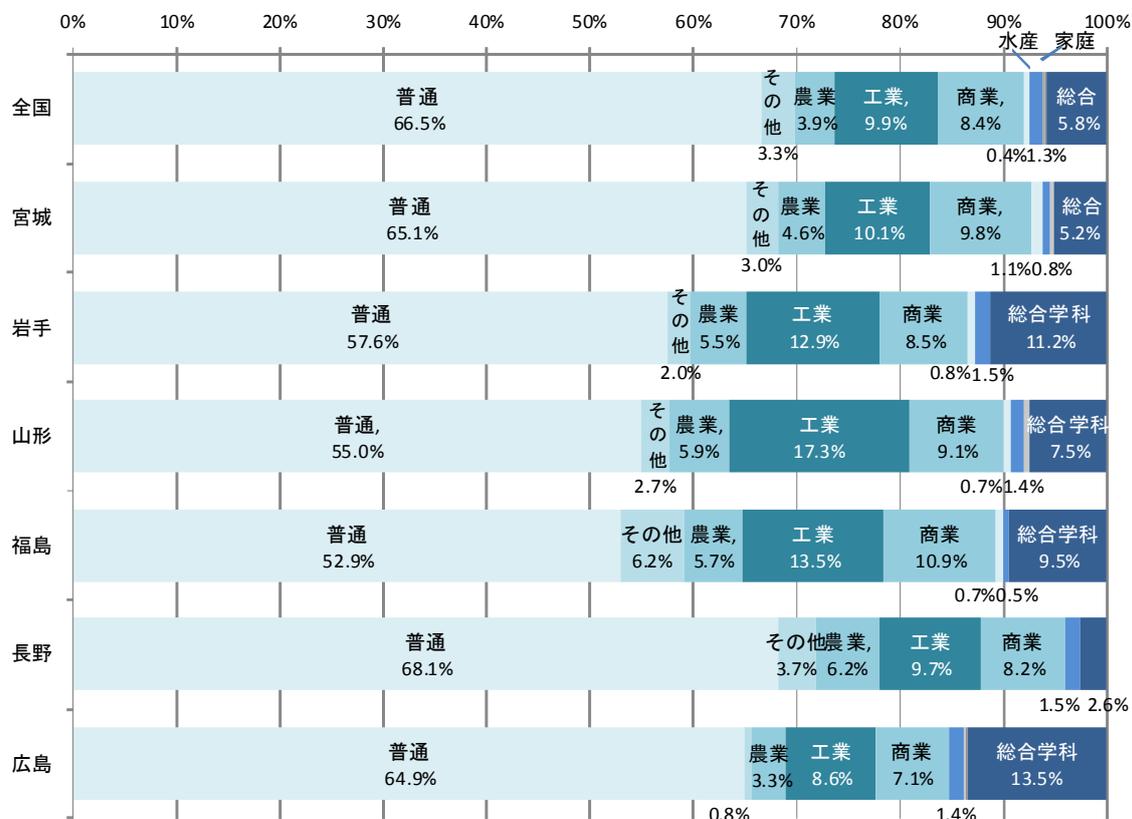
全日制課程公立高校の学科別生徒数の構成割合を全国と比較してみると、本県は全国平均と比べて普通科がやや少なく農業科・商業科・水産科がやや多い状況である。また、本県と人口規模が類似の長野県と比べると普通科・農業科がやや少なくなっている。さらに、地方政令都市を抱える広島県と比べると総合学科がかなり下回っている。

また、隣県の山形・福島・岩手と比べると、普通科は大きく上回り、農業科、工業科、総合学科で下回っている。

○各県の学科別生徒数の構成（H19年度 公立・全日制）

(単位:人)

区分	計	普通	理数・英語・美術・体育等	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	総合学科
全国	2,276,108	1,514,639	74,378	87,798	225,888	191,564	9,821	28,705	3,751	1,736	5,584	132,244
隣県	岩手	33,818	19,475	685	1,844	4,368	2,888	267	493	—	—	3,798
	宮城	48,029	31,274	1,451	2,208	4,860	4,698	546	387	117	—	2,488
	山形	25,816	14,186	694	1,519	4,471	2,361	177	349	117	—	1,942
	福島	51,799	27,426	3,196	2,942	7,004	5,637	374	275	—	—	4,945
生徒数の近い県	長野	49,733	33,890	1,826	3,095	4,818	4,085	—	748	—	—	1,271
	広島	50,176	32,573	417	1,632	4,303	3,544	—	724	116	80	6,787
(構成比)												
全国	100.0%	66.5%	3.3%	3.9%	9.9%	8.4%	0.4%	1.3%	0.2%	0.1%	0.2%	5.8%
隣県	岩手	100.0%	57.6%	2.0%	5.5%	12.9%	8.5%	0.8%	1.5%	0.0%	0.0%	11.2%
	宮城	100.0%	65.1%	3.0%	4.6%	10.1%	9.8%	1.1%	0.8%	0.2%	0.0%	5.2%
	山形	100.0%	55.0%	2.7%	5.9%	17.3%	9.1%	0.7%	1.4%	0.5%	0.0%	7.5%
	福島	100.0%	52.9%	6.2%	5.7%	13.5%	10.9%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	9.5%
生徒数の近い県	長野	100.0%	68.1%	3.7%	6.2%	9.7%	8.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	2.6%
	広島	100.0%	64.9%	0.8%	3.3%	8.6%	7.1%	0.0%	1.4%	0.2%	0.2%	13.5%



(データ出典: H19学校基本調査)

5. 普通科

全日制課程の普通科県立高校は県内に54校で一学年260学級。(平成20年4月1日現在)

普通教科・科目を主に学習する学科。一般的に必要とされる教養を、幅広く身につけ高めることを目標としている。

○主な学習内容

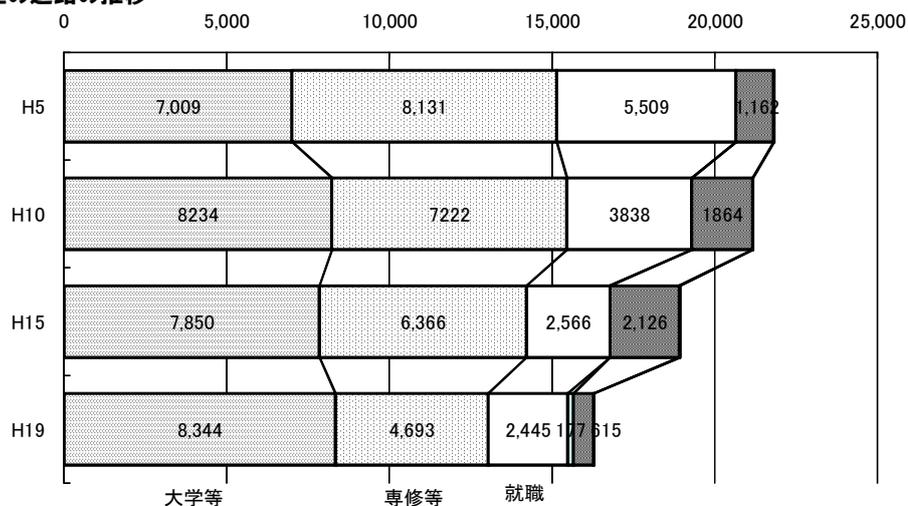
教科	科目
国語	国語表現Ⅰ・Ⅱ、国語総合、現代文、古典、古典読詠
地理歴史	世界史A・B、日本史A・B、地理A・B
公民	現代社会、倫理、政治・経済
数学	数学基礎、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、数学A・B・C
理科	理科基礎、理科総合A・B、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、地学Ⅰ・Ⅱ
保健体育	体育、保健
芸術	音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、美術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、工業Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ、英語Ⅰ・Ⅱ、リーディング、ライティング
家庭	家庭基礎、家庭総合、生活技術
情報	情報A・B・C

(専門教育に関する教科・科目が選択できる高校もあります)

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者の大学等へ進学する割合は5割を超えている。15年前の卒業生の進路の構成比と比較すると専修・専門学校と就職がそれぞれ1割減少している。

・普通科の卒業生の進路の推移



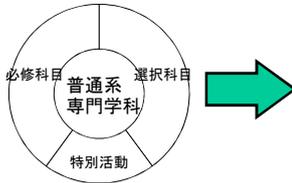
	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	32.1%	37.3%	25.2%	0.0%	5.3%	0.0%	100.0%
H19年	51.2%	28.8%	15.0%	1.1%	3.8%	0.1%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)

6. 普通科系のその他の専門に関する学科

普通教育をより高度に拡充させた専門教育を行う学科として、理数科、英語科、体育科、美術科などがある。
 こうした職業系以外の専門学科(いわゆる普通系専門学科)は、県立高校には、8校12学級となっている。

○主な学習内容



学習する専門科目(例)

- 理数に関する学科 理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ、理数数学探究、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学
- 英語に関する学科 総合英語、英語理解、英語表現、異文化理解、生活英語、時事英語、コンピュータ・LL演習
- 体育に関する学科 体育理論、スポーツⅠ・Ⅱ・Ⅲ、専攻実技
- 美術に関する学科 美術史、素描、構成、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザイン、映像メディア表現

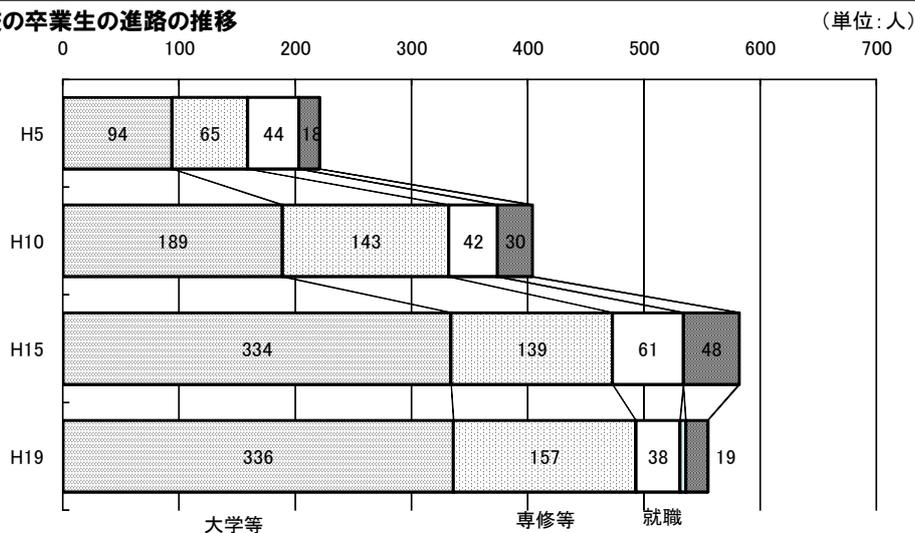
○各学科の学習内容

理数に関する学科 仙台第三高校・仙台南山高校・宮城第一高校 自然科学や数学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的な理解を深め、科学的、数学的に考察し処理する能力を深く身に付け、自然科学や数学を研究する方法や態度を習得することによって、創造的な能力を高めることを目指す	体育に関する学科 柴田高校・利府高校 心身ともに健全な人間の育成に資するとともに、体育・スポーツの振興発展に寄与する資質や能力を育てる事を大きなねらいとする
英語に関する学科 仙台東高校・泉高校 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養うことを目指す	美術に関する学科 宮城野高校 美術に関する専門的な学習をとおして、美的体験を豊かにし、感性や創造的な表現と鑑賞の能力を高めるとともに、美術文化の発展と創造に寄与する意欲と態度を養う

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者の約9割は大学や専修専門学校等へ進学している。なかでも、大学等への進学率は6割と、進学率を他の学科と比較した場合には、ほぼ全員が専攻課程に進学する看護科について高い状況となっている。

・普通系専門学科高校の卒業生の進路の推移



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	42.5%	29.4%	19.9%	0.0%	8.1%	0.0%	100.0%
H19年	60.5%	28.3%	6.8%	0.9%	3.4%	0.0%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)

7. 総合学科

平成7年度より設置された新しい学科。生徒が学習する科目を選択し、普通教科、専門教科を総合的に学習する。
1年次に「産業社会と人間」を履修し、それぞれの興味や関心進路に応じた系列を選択し履修する。

○主な学習内容

総合学科の学習活動のイメージ



必修科目

選択科目

「産業社会と人間」
総合学科の原則履修科目として1年次に学習する科目です。現代の産業社会への理解を深め、自分の進路を確かなものにするための教科で、総合学科の基礎になる特徴的な科目。
① 社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育てる。
② 日本の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。
③ 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画をつくる。

「系列」
多くの普通・専門の教科・科目の中から選択する目安としていくつかの系列が設けられています。系列とは体系的や専門性をもった学習を可能にするための教科・科目のグループのことで、進路や資格取得等に合わせた学習ができるようになる仕組み。

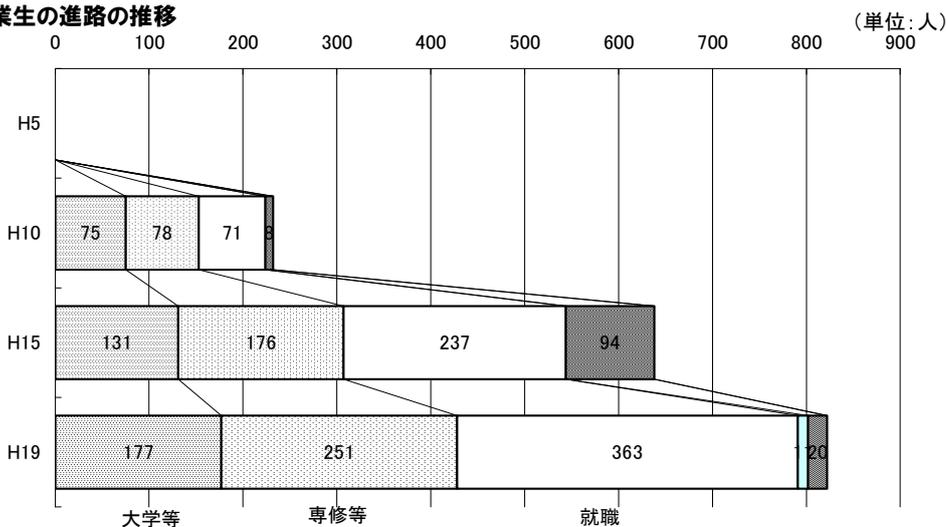
○各系列の学習内容

人文科学系の系列 国公立の文科大学への進学希望の実現を目指す。国語・地歴・英語などの科目を選択し学習する。	人文社会 人文国際 進学教養	国語表現、古典、英語Ⅱ、リーディング、ライティング、日本史A・B、世界史A・B、政治経済、音楽(美術)専門、児童文化、ダンス等	農業・環境系の系列 農業について生産から販売までを総合的に学習し、農業関連の進路希望の実現を目指す。	農学 アグリビジネス 人間環境	農業経済、農業化学基礎、植物バイオテクノロジー、草花、食品化学、農業機械、グリーンライフ、野菜
自然科学系の系列 国公立の理科大学への進学希望の実現を目指す。理科・数学などの科目を多く選択し学習する。	自然科学 理数情報	数学Ⅱ・Ⅲ・A・B・C、数学探究A・B・C、物理Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物Ⅰ・Ⅱ、科学の探究、英語Ⅱ、リーディング、古典、現代文講読、国語表現等	工業系の系列 自動車整備や土木・測量の技術を習得するとともに身に付けた技術を生かした進路の実現を目指す。	自動車 機械 エンジニアリング	工業技術基礎、自動車実習、自動車整備、土木実習、土木基礎力学、土木施工、建築構造、測量、建築構造設計
情報系の系列 コンピュータに関する知識と技能を修得し、情報関連の進路希望の実現を目指す。	情報 情報ビジネス 情報科学 産業情報	情報技術基礎、アルゴリズム、マルチメディア表現、プログラミング、情報処理、ビジネス情報、文書デザイン、数学A等	商業系の系列 商品の流通に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、ビジネスの意義や役割について理解するとともに流通管理等を学習する。	商業実践	簿記、会計、商業技術、原価計算、ビジネス基礎、マーケティング、総合実践、販売促進と広告、文書デザイン、数学A、オール・コミュニケーションI等
福祉系の系列 福祉関係の知識と技能の習得及び上級学校への進路希望の実現を目指す。福祉に関する科目を多く選択し学習する。	介護福祉 福祉 健康福祉 福祉教養	基礎介護、社会福祉基礎、社会福祉援助技術、社会福祉制度、家庭看護・福祉、社会福祉実習、社会福祉演習	美術やデザイン系、家庭科系の系列 生活文化や芸術に関するセンスを活かして創造活動を結ぶ。	美術 生活表現	被服製作、美術Ⅱ、工芸Ⅱ、音楽Ⅱ、服飾手芸、器楽、映像メディア表現、服飾文化

○卒業後の就職・進学状況

・卒業生の約5割が大学・専修専門学校等へ進学している。大学・専門学校等への進学は看護科を除き、普通科高校について高い。

・総合学科の卒業生の進路の推移



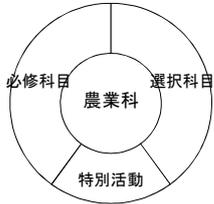
	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H10年	32.3%	33.6%	30.6%	0.0%	3.4%	0.0%	100.0%
H19年	21.5%	30.5%	44.2%	1.3%	2.4%	0.0%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)

8. 農業に関する学科

全日制課程の農業に関する学科をもつ高校は県内には10校(そのうち1校はH20年度から募集停止)
 農業関連産業や地域産業に従事するために必要な基礎的知識や技術を、実験や実習を多く取り入れながら学習。

○主な学習内容



学習する専門科目(例)

農業科学基礎、農業情報処理、作物、畜産、植物バイオ、環境科学基礎、生物活用
 食品製造、食品化学、食品流通、微生物基礎、フードデザイン、家庭総合、簿記
 農業機械、電気基礎、原動機、工業技術基礎、機械設計

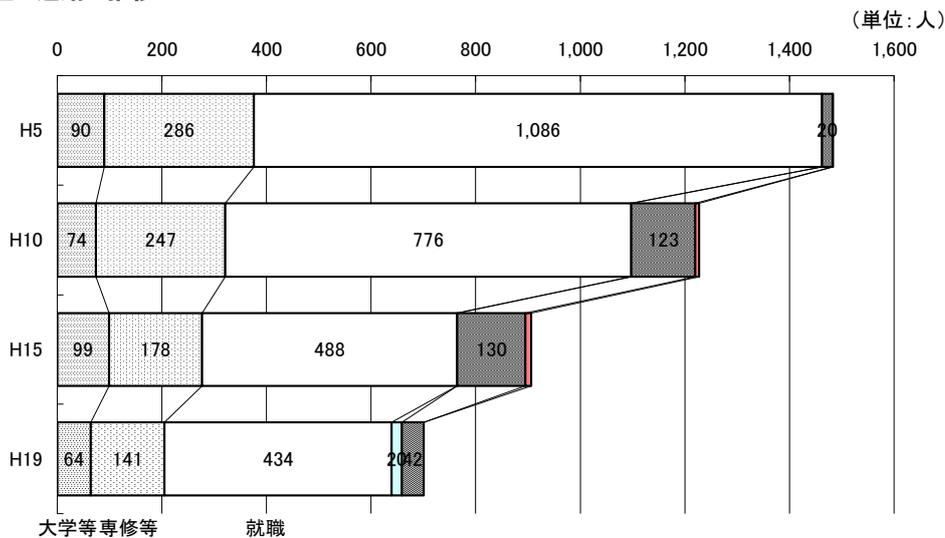
○各学科の学習内容

分類	学 科 名	主な学習内容	学 校 名
A	農業科、食農科学科、動物科学科、農業経営科、農業技術科の農業科学コース・生産技術類型、園芸科、園芸工学科	農産物の生産・栽培環境・農業経営を主とした学習	柴田農林、宮城農、黒川、小牛田農林、河南、上沼
B	食品化学科	食品の加工、分析や食品衛生についての学習	亘理、宮城農
C	農業機械科	農業機械の整備、運転を主とした学習	宮城農、加美農
D	森林環境科	森林の役割や保全技術、森林資源の活用についての学習	柴田農林
E	生活科、生活技術科	農業をベースにした家庭生活に関わる学習	宮城農、加美農
F	農業技術科の農業土木コース・土木技術類型	農地の管理や改良、保全に関わる学習	小牛田農林、上沼
G	産業技術科	農業・工業・商業を総合的に学習	南郷
H	園芸ビジネス科	草花・野菜に関する基礎と、情報化社会に対応した学習	米山

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者の約6割が就職しており、大学・専修専門学校等への進学は、全体の約3割にとどまっている。

・農業科の卒業生の進路の推移



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	6.4%	17.6%	72.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
H19年	9.1%	20.1%	61.9%	2.9%	6.0%	0.0%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)

9. 工業に関する学科

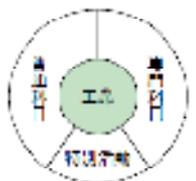
全日制課程の工業に関する学科をもつ高校は県内には10校

各学校とも将来のスペシャリストとして必要な専門の基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指している

産業界からのニーズに応えられる科目を取り入れ、また、多様な選択制を導入し、特色ある工業教育を行っている。

○主な学習内容

工業の学習領域のイメージ



学習する専門科目（例）			
工業技術基礎	工業技術基礎	機械技術基礎	材料技術基礎
機械製図	機械設計	インテリア設計	工業化学
電気機	材料機械化学	電子技術	建築図法設計
コンピュータ実習	機械技術	電子回路実習	電気実習
土木実習	化学工学実習	情報技術実習	基礎研究

（学校によって科目に若干の違いはあります）

○各学科の学習内容

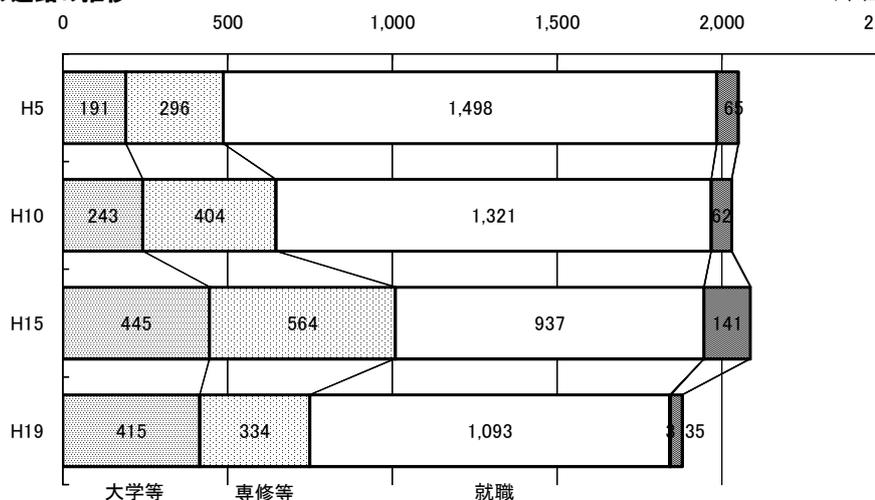
1機械科系学科 機械に関する基本的な知識と技術を習得し、技術革新に対応できる柔軟な能力と実践的な態度を育て、機械に関連する諸分野の業務に従事する技術者を育成します。工業で使う材料、様々な工作機械での加工法、CAD、産業用ロボットなどの先端技術の基礎を実験・実習をおおして実践的に学習します。	機械科 機械システム科 機械技術科 機械制御科 自動車科	4建築科系学科 建築物の設計・建築について、基礎的・基本的な知識や技術・技能を実験・実習の体験的な学習をおおして、建築に関する確かな知識と技術を習得し、建築業・建築行政などの諸分野において、建築物の設計・施工・管理・指導などの業務に従事する技術者を育成します。	建築科 インテリア科 設備工業科
2電気科系学科 電気・電子に関する基礎的な知識と技術を習得し、電気・電子機器製造業、電気事業の管理・運用・保守・技術サービスなどの業務に従事する技術者を育成します。	電気科 電気電子科 電気システム科 電気情報科 電子科 電子機械科	5土木科系学科 社会基盤の整備を行うために必要となる土木技術について学習します。測量、土木製図・CAD、土木施工、土木基礎力学、土木実習、工業技術基礎などを学習します。	土木科 土木情報科 土木システム科
3情報科系学科 電子・通信及び情報工学の基礎となるコンピュータの装置やネットワーク技術、プログラミング言語活用を中心とした情報技術について学習します。	情報科学科 情報技術科	6化学科系学科 化学工業に関する諸分野の基礎的・基本的な知識と技術について、実験をおおして体験的に学習します。新素材、バイオテクノロジー、情報処理技術等に関する知識と技術を積極的に取り入れ、最新の化学技術に幅広い視点で柔軟に対応できる能力と主体的・実践的な態度を育成します。	化学技術科 化学工業科 工業化学科

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者の約4割が大学・専門学校等へ進学している。大学等への進学率は看護科を除いた専門高校の中で最も高い。

・工業科の卒業生の進路の推移

（単位：人）



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	9.3%	14.4%	73.1%	0.0%	3.2%	0.0%	100.0%
H19年	22.1%	17.8%	58.1%	0.2%	1.9%	0.0%	100.0%

（データ出典：H19学校基本調査）

10. 商業に関する学科

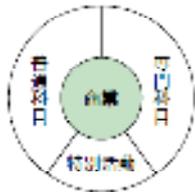
全日制課程の商業に関する学科をもつ高校は県内には12校

各学校とも将来のスペシャリストとして必要な専門の基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指している

多様な選択制を導入しているほか、地域産業との連携による商品開発の実践など、特色ある商業教育を行っている。

○主な学習内容

商業の学習活動のイメージ



学習する専門科目（例）			
ビジネス基礎	商品と流通	商業技術	マーケティング
国際ビジネス	新技術と法	英語英語	地域研究
簿記	会計	原簿計算	会計実務
情報処理	ビジネス情報	文章デザイン	プログラミング
総合英語			

（学校によって科目に若干の違いがあります）

○各学科の学習内容

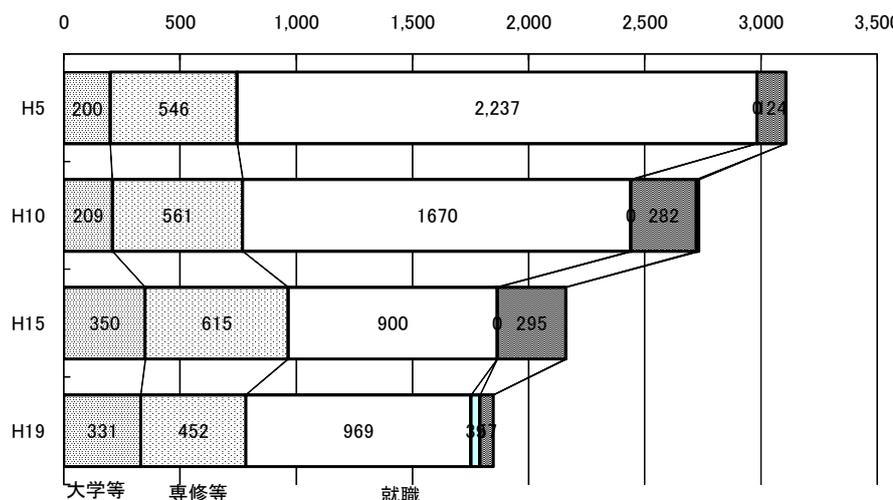
1商業科系学科 流通ビジネス・国際経済・簿記会計・経営情報の商業に関する科目を系統的に学習し、専門科目の高度な知識と技術を身に付けるとともに、各種の資格を取得することで、産業界の経済活動に総合的に対応できる職業人の育成を目指し様々な取り組みを行っています。	商業科 _____ _____ _____ _____ _____ _____	4情報系学科 コンピュータシステムエンジニア及びプログラマー・オペレーターなどの情報処理の中堅技術者の育成を目標として、言語を用いたプログラミング実習をはじめ、様々なアプリケーションソフトについて専門的な学習を行います。	情報システム科 情報処理科 情報ビジネス科 _____ _____
2総合ビジネス科系学科 1年次で商業に関する各分野の基礎となる学習を進め、それぞれの希望により、2年次より会計ビジネス類型、情報システム類型、情報ビジネス、ビジネス進学類型の4類型に別れ、より専門的な学習を進めることで、高度な知識と技術を学びます。	総合ビジネス科 _____ _____ _____ _____ _____ _____	5流通系学科 流通マネジメントの技術者育成を目指し、流通ビジネスに関する科目の基礎的・基本的な知識と技術を学びます。また、流通の情報化やサービス化など経済社会の変化に対応できる実践力と態度を育成します。	流通マネジメント科 流通経済科 _____ _____ _____ _____
3会計系学科 簿記会計・財務会計に関する分野で求められている専門的な知識や技術に適切に対応できる実践力と態度を養い、簿記会計の上級資格を取得するとともに、コンピュータを利用した会計システムについても学び、経理のスペシャリストを目指します。	会計科 OA会計科 _____ _____ _____ _____ _____ _____		

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者の約5割が大学・専修専門学校等へ進学している。工業科に比べると専門学校への進学が多くなっている。

・商業科の卒業生の進路の推移

（単位：人）



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	6.4%	17.6%	72.0%	0.0%	4.0%	0.0%	100.0%
H19年	17.9%	24.5%	52.4%	2.1%	3.1%	0.0%	100.0%

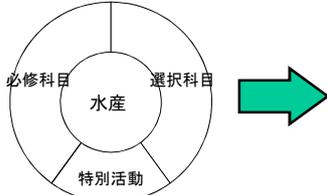
（データ出典：H19学校基本調査）

11. 水産に関する学科

全日制課程の水産に関する学科をもつ高校は県内には2校
 各学校とも将来のスペシャリストとして必要な専門の基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指している
 産業構造の変化に対して学科や教育課程の改編を行いながら、沿岸部の基幹産業である水産に教育に取り組んでいる。

○主な学習内容

水産学科の学習活動のイメージ



学習する専門科目(例)

- 海洋漁業分野・・・漁業、航海・計器、漁船運用、操船、漁業乗船実習
- 海洋工学分野・・・船用機関、機械設計工作、操船、機関乗船実習
- 情報通信分野・・・通信工学、電気通信理論、水産情報技術
- 栽培漁業分野・・・栽培漁業、水産生物、漁場環境、操船
- 水産食品分野・・・水産食品製造、水産食品管理、水産流通

○各学科の学習内容

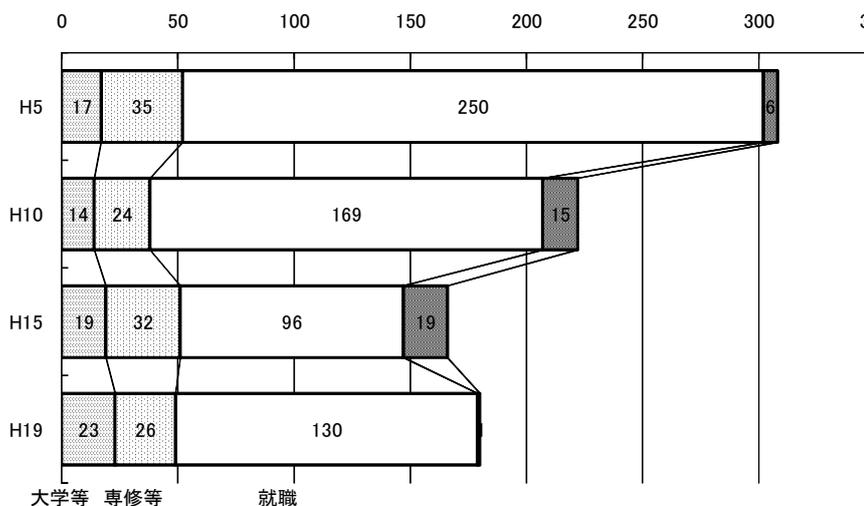
海洋総合科 宮城水産高校	海洋漁業、海洋工学、栽培漁業、水産食品の4つの分野を1つにまとめた総合的な学科。水産に関する学習を幅広く学習することができます。また、興味・関心や進路希望により各分野を専門的に学習する。
産業経済科 気仙沼向洋高校	食品を総合的にとらえ、食品全般に関する製造、栄養、環境、食の安全などについて幅広く学習する。また、食品の製造から食卓に至るまでの流通の仕組みやビジネスなど、食品産業全般についての学習する。
情報海洋科 気仙沼向洋高校	情報通信と海洋漁業との分野を併せ持った学科で、コース選択により電子・情報または、海洋に関する学習をする。

○卒業後の就職・進学状況

・卒業者のうち7割が就職しており、大学や専修・専門学校等への進学者は、合わせても全体の3割を下回っている。

・水産科の卒業生の進路の推移

(単位:人)



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	5.5%	11.4%	81.2%	0.0%	1.9%	0.0%	100.0%
H19年	12.8%	14.4%	72.2%	0.0%	0.6%	0.0%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)

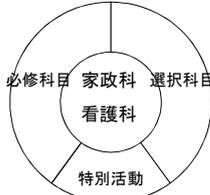
12. 家庭・看護に関する学科

家庭に関する学科では、衣食住、家族・保育、家庭看護・福祉などについて、将来職業人として積極的に仕事に取り組むことができるように、基礎的・基本的な知識や技術を学んでいる。

看護に関する学科では、将来看護職として働くことができるように実験や実習を多く取り入れ、基礎的・基本的な知識や技術を学んでいる。

○主な学習内容

家政科・看護科の学習活動のイメージ



学習する専門科目(例)

家政科・・・生活産業基礎、フードデザイン、被服製作、発達と保育、家庭看護・福祉、課題研究

看護科・・・基礎看護、看護臨床実習、看護基礎医学、成人・老人看護、母子看護、看護情報処理

○各学科の学習内容

家政科 名取高校、亘理高校、松山高校

各学校とも普通科目とともに専門科目があり、共通の専門科目の「生活産業基礎」では、生活と産業とのかかわりや生活に関連する職業について学び、「課題研究」では、学科のまとめの学習として、家庭の各分野の課題を自ら設定し、その解決を図ることで様々な課題解決能力を育てる。その他学校の特色ある取組として「フードデザイン」「被服製作」「発達と保育」「家庭看護・福祉」などの専門科目があり、いずれも実験・実習など体験的な学習を多く取り入れわかりやすく学んでいる。

看護科 白石女子高校

「基礎看護」「看護臨床実習」「看護基礎医学」「成人・老人看護」「母子看護」専門科目には「看護情報処理」の6科目があり、特に「看護臨床実習」は学校以外の臨床の場で必要な知識や技術を体験をとおして学ぶため、時間数も多く設定されており、看護職を目指す人にとって重要な科目となっている。その後さらに専門性を深めるため専攻科に進んだ生徒は、2年間専門科目を中心に学び、看護師国家試験の受験資格を得る。

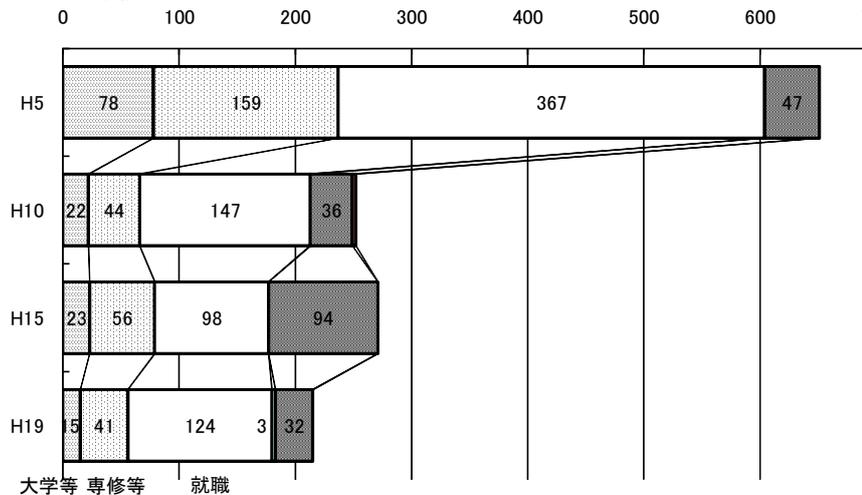
○卒業後の就職・進学状況

・家政科については、従前より卒業者の約6割が就職。大学等への進学率は最も低くなっている。

・看護科については、ほぼ100%近くが専攻科への進学となっている。

・家政科の卒業生の進路の推移

(単位:人)



	大学等	専修等	就職	一時的な仕事	その他	不明	合計
H5年	12.0%	24.4%	56.4%	0.0%	7.2%	0.0%	100.0%
H19年	7.0%	19.1%	57.7%	1.4%	14.9%	0.0%	100.0%

(データ出典: H19学校基本調査)